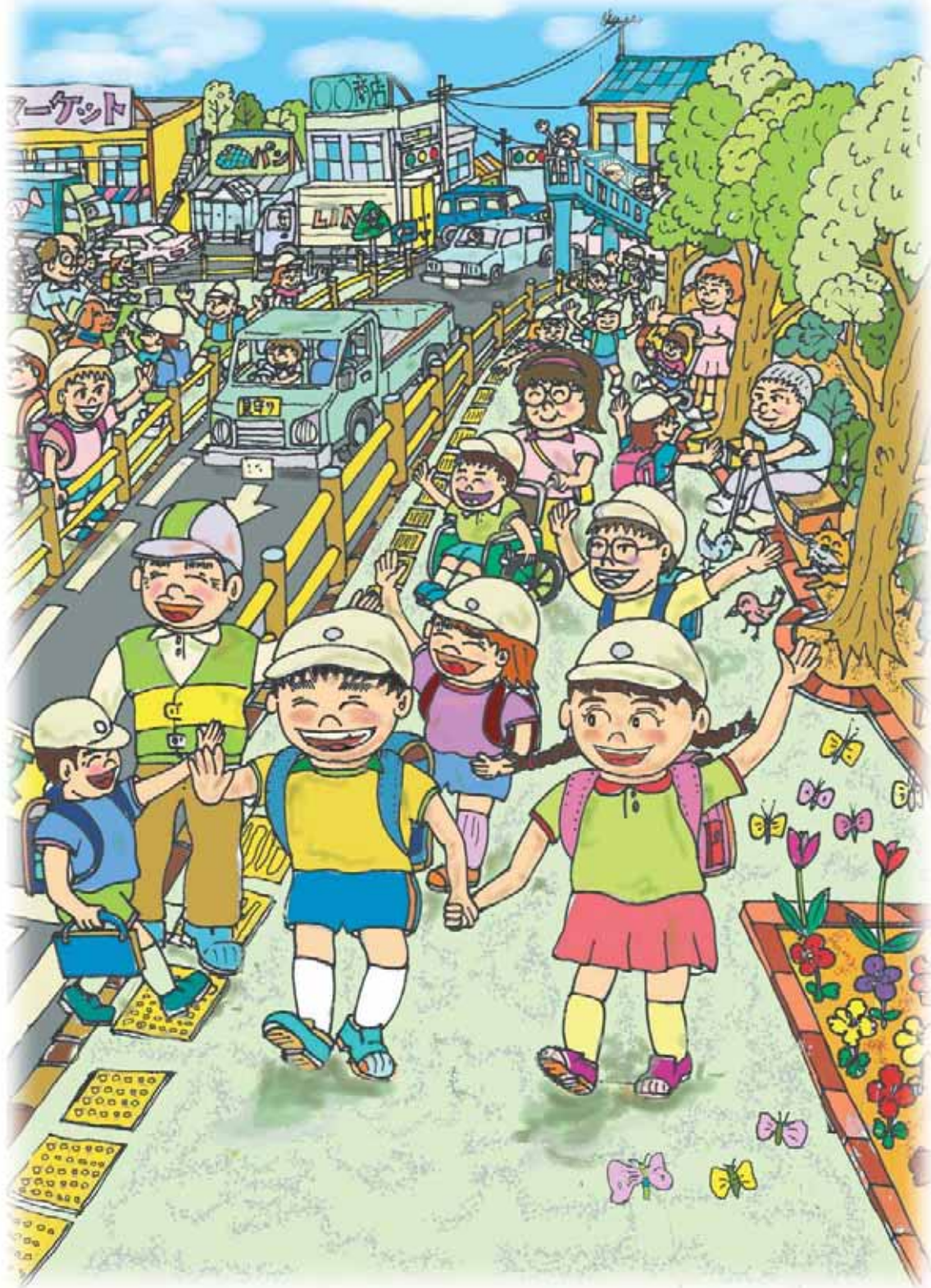


ほほえみ



1・2ねん

もくじ

①

たのしく あそぼう

1

②

どうしたの？

2

③

たのしい えんそく

4

④

ゆめみたい

6

⑤

どうしてだろう

8

⑥

るすばん

10

⑦

しあわせはこべるように

12

⑧

いつしよに あそぼ

14

⑨

はるかひまわり

16

⑩

見^みまもり隊^{たい}のおじいさん・

おばあさん

18

丸数字

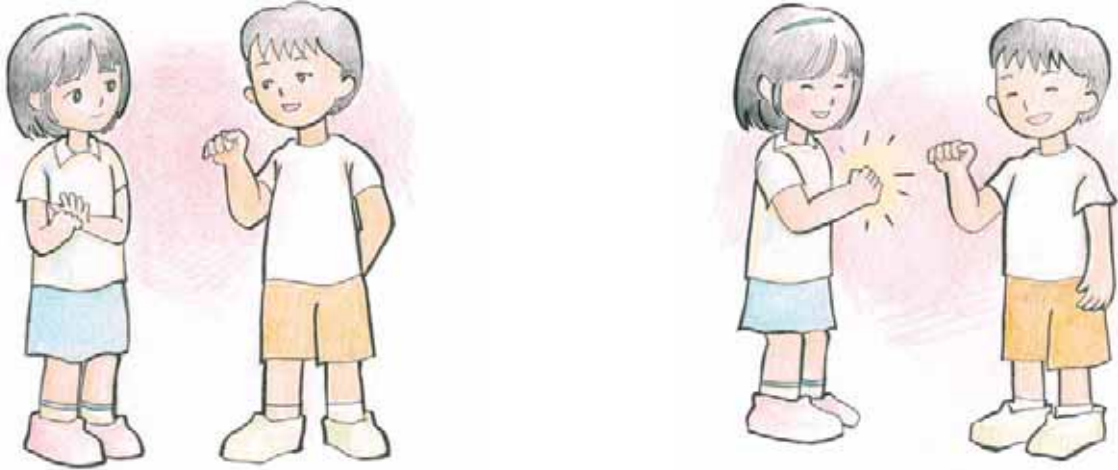
青…一年

赤…一・二年共通

緑…二年

たのしく あそぼう

なかよし じゃんけん



いすわけあい ゲーム



どうしたの？

「おはよう。」

「・・・。」

いつも おおきなこえで

あいさつを してくれる ゆうきさん

きょうは なんだか げんきがない



「どうしたの？」

って、きいたら

「あやとびが できないんだ。

きのう、ひとりで ずっと

れんしゅうしてたんだけど。」

と、なきそうなかおで いった

「いっしょに れんしゅうしよう。」

って、いったら

かおが ぱっと あかるくなった



たのしい えんそく



1



2



3

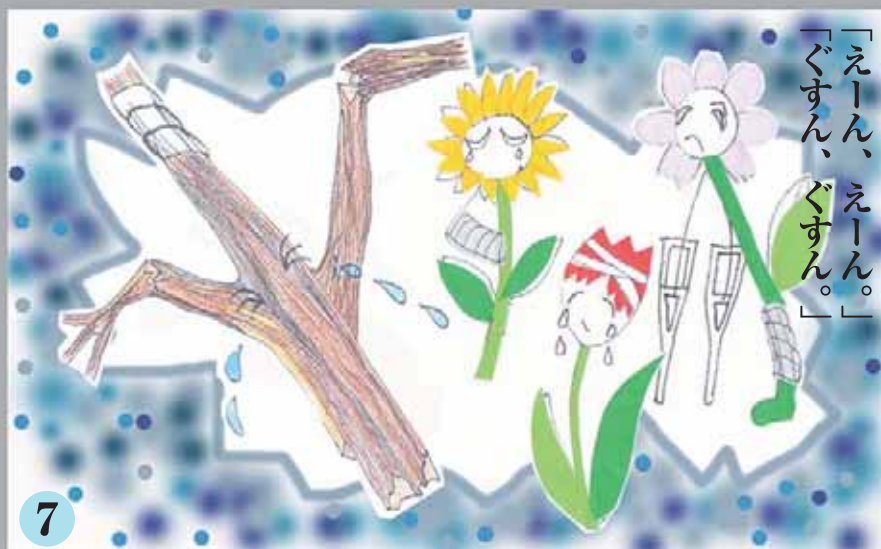


4



5





ゆめみたい

せんせい あのね。

きょうは とうとう もぐれたよ。

きのうは なみだを ながして

じょうろの みずで

じょうじょう してもらった だけなのに。

きょうは うそみたい。

どきどき しながら はいったよ。

みんなと いっしょに ばしゃばしゃ していたら

もぐれそう な きが してきた。



いちにさん。

いきを いっぱい すつて

あたまの うえまでもぐつてみた。

まいさんが

「すごいね。」

と いてくれた。

なみだが でそうに なったよ。

しんごさんが ピースサインを してくれた。

わたしも ピースサインを したよ。

せんせい ゆめみたい。



びりびりしてさるり



ともだちと こうえんで あそんだよ。

とても たのしかったよ。

でも、どろだらけに なっちゃった。

わたしの ふくを みた おじいちゃんに、

「おんなのこだったら、おとなしく
しないとな。」って、いわれたよ。

どうして、いつも

「おんなのこは おとなしく」って、
いわれるんだろう…。



このまえ、じてんしゃで こけてしまいました。

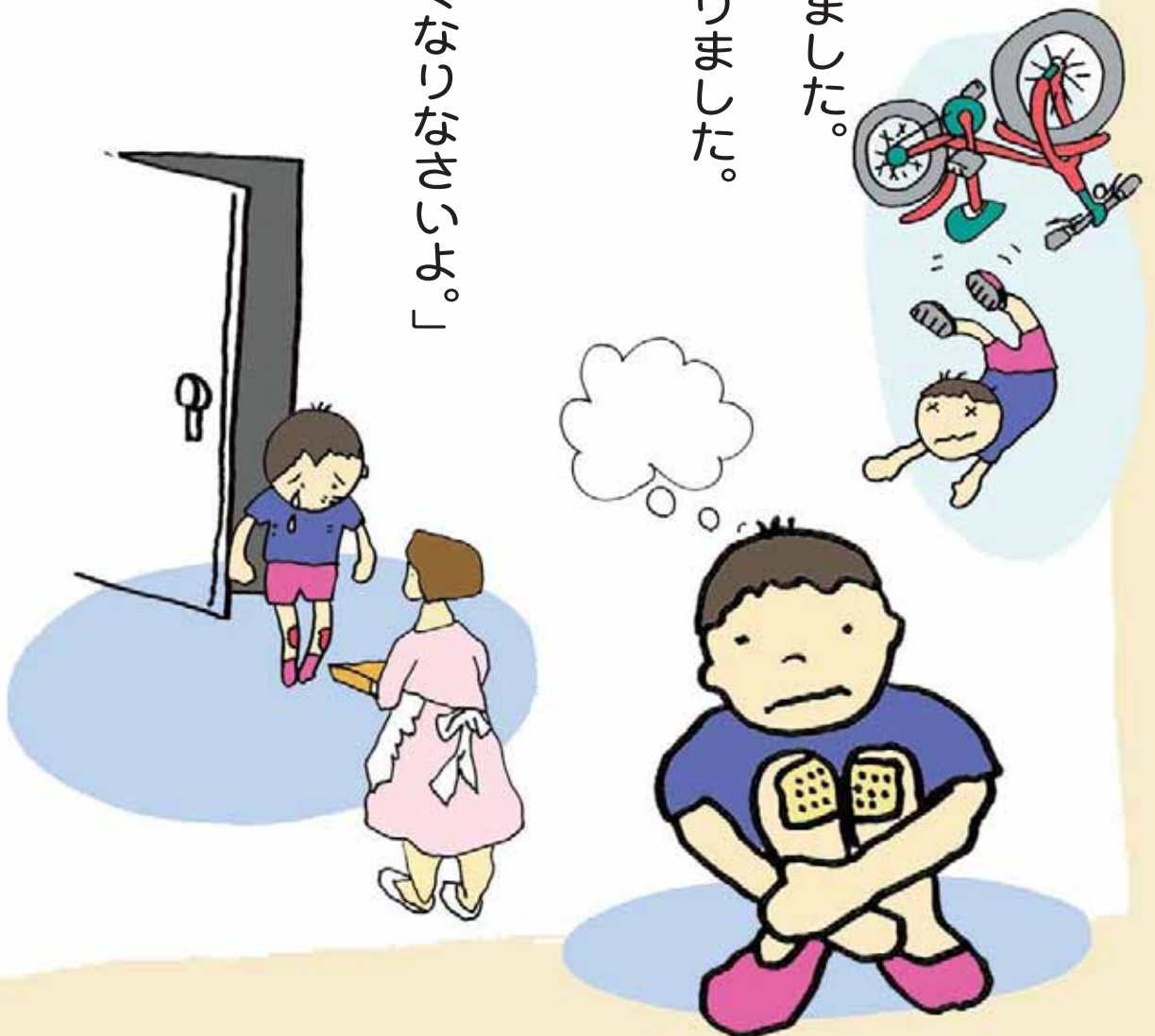
いたくて、なきながら おうちに かえりました。

おかあさんに、

「おとこのこなんだから、もっと つよくなりなさいよ。」
と、いわれました。

どうして、おとこのこは いつも

つよくないと いけないのかなあ……。



るすばん

ぼくは、ときどき

ひとりで よる すばんをします。

おかあさんが、しごとで

いそがしいからです。

ごはんを たべてから

テレビを みたり、

あそんだり しています。

九じや ^{じゅう}十じぐらいまで、

おかあさんを まっています。



つぎの日、がっこうに いくとき、
ねむいことが あります。

でも、がんばって おきます。

おくれるのが いややからです。
がっこうが すきやからです。

いっぱい はつぴょうして、

げんきに なれるように

がんばります。



いっしょに あそぼ



つぎの日

「うーん、あそび。」



「どうしたらいいかなあ。」



はるかひまわり

みなさんは、「はるかひまわり」を知っていますか。
神戸の町に大きな地震がおきた時、
小学校六年生だったかとうはるかちゃんは、
地震でこわれた家の下じきになって、
なくなっていました。

その年の夏、あき地になったはるかちゃんの家のにわに、
たくさんのひまわりの花がさきました。

そのひまわりは、はるかちゃんが、
かわいがっていたオウムにあげていたたねが、
地震でとびちり、めを出してさいたのです。

みんなは、

「はるかちゃんが、ひまわりになってかえってきた。」
と、なみだをながしました。



おお
大きくそだつ「はるかひまわり」
こうべし
(神戸市)



みんな で たねまき
こうべし
(神戸市)

はるかちゃんのかぞくや、町の人は、
そのたねをたいせつにあつめました。

そして、つぎの年、町のあちこちに たねをまき、

たくさんのひまわりの花がさきました。

地震で、なにもかも なくしてしまった町の人たちを

「はるかのひまわり」が、はげましてくれたのです。

それから、「はるかのひまわり」は、
日本じゅうの、そして 外国の
さいがいがあった町におくられて、
力強く 花をさかせつづけています。



げんきいっぱいにさく「はるかのひまわり」



「はるかのひまわり」からとれた
たくさんのたね



ようちえんのわで
めを出す「はるかのひまわり」

みやぎけんけせんぬまし
(宮城県気仙沼市)

見まもり隊のおじいさん・おばあさん

学校がっこうからのかえり道みち、

「おかえり。」

「きょうも学校がっこうでたのしいことがいっぱいあったかな。」

「気きをつけてかえりよ。」

ニコニコとした顔かおで、ぼくたちに話はなしかけてくれる田中たなかさんや山川やまかわさん。
見まもり隊のおじいさんやおばあさんです。あつい日も雨あめの日ひも、
毎日まいにちぼくたちのことを見まもってくれています。

ある日ひ、おわりの会かいの前まえに、ぼくは大だいのなかよしのけんちゃんと
口げんかをしてしまいました。それでだれとも話はなしたくなくて、
下したをむいたまま、いそいで家いえにかえっていました。

おうだんほどうのところまで、

「おかえり。」

山川やまかわさんのやさしい声こえが聞きこえてきました。

「しんどのいかな。」

田中たなかさんの声こえも聞きこえてきました。

でも、ぼくは、もっと早足はやあしでかけだしました。



夕食の前、けんちゃんから電話がかかってきて、なかなかおりができました。

あした、あそぶやくそくをしました。

うれしくなって、すっきりした気持ちになりました。

でも、そのあと、山川さんたちのニコニコした顔が、きゆうに頭の中にかんできました。夕食をたべていても、頭からきえませんでした。

つぎの日の学校がえり、いつものように、田中さんと山川さんがニコニコした顔でまってくれていました。

「おかえり。」

「きょうも学校でたのしいことがいっぱいあったかな。」

いつものやさしい声です。

ぼくは、田中さんと山川さんの顔をしばらく見つめていました。

そして、

「とつてもたのしかったよ。」

と、大きな声でこたえました。



小学校低学年用教育資料

『ほほえみ』

平成 24（2012）年 3 月発行

発行 兵庫県教育委員会
神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号

